

特集

日本在宅医療の Buurtzorgとの邂逅 何を学び、どう活かすのか

昨年本誌11月号でも紹介し、注目を浴びるオランダの在宅ケア組織 Buurtzorg。その創業者で代表の Jos de Blok 氏は、各地で講演・視察を行ない、その活動を日本に紹介してきました。逆に、日本の在宅医療をリードする多くの実践者がオランダまで視察に訪れています。では、Buurtzorgに触れた日本の実践者は、何に感化され、どのように日々の実践に活かそうと考えているのか？ Buurtzorgとの出会いを、新たな実践へと踏み出す一歩に。

Buurtzorg解体新書

在宅ケア組織「Buurtzorg」とは何か ●堀田聡子

Buurtzorgから学ぶべき視点とは ●西村周三

地域包括ケアシステムの構築に向けて ●田中滋

Buurtzorgを見に、オランダへ行ってきた！

●宮崎和加子

Buurtzorgの刺激を受けて

私たちはこう進化した！

●須藤義、佐藤伸彦、糸山めぐみ、飯田大輔、小堺武士、

松本京子、片山智栄、星北斗、川添高志

INTERVIEW ケアする人々

Jos de Blok さん (Buurtzorg 代表)

× 山本則子 さん (東京大学大学院医学系研究科成人看護学分野)

編集後記

高齢者肺炎の予防とは畢竟、誤嚥性肺炎の予防です。「誤嚥」を防ぎたいなら「禁食」とつい短絡しそうですが、「誤嚥性肺炎」の予防はそう単純ではありません。禁食中でも唾液は誤嚥するし、胃ろうでも逆流性誤嚥は起こる。たとえ誤嚥はしても、必ず肺炎になるわけでもない。若林先生が興味深いエビデンスを引用しています。「経管栄養中の患者において、少量でも経口摂取可能な摂食・嚥下障害である場合、実は経口摂取しているほうが肺炎になりにくい」(p.393)。そもそも肺炎と経口摂取は“両天秤”にかけずとも、並び立つもののように(となると、特集サブタイトルの「両立」という言葉はあまり正しくありません)。でも、現実にはそううまくはいかない難しさをさらに特集したくなりました。…杉本

本号をもって、小誌の担当を離れることとなりました。2年という短い間ではありましたが、いろいろな場所でいろいろな方と出会い、多くのことを学びました。ご指導、ご厚情いただいたみなさんには、感謝の気持ちしかありません。在宅医療、なかでも「訪問看護」の需要はますます高まっています。その一方で、人手不足や看護の質の担保等解決すべき課題も多く、頭を悩ませている管理者の方もたくさんいることでしょう。しかし、だからこそ「訪問看護」はおもしろい。今後もこの領域の動向を注視しつつ、小誌を編んでいくなかで得たことを次のステージでも活かせるよう精進していきます。…多淵

訪問看護と介護 第19巻 第5号 (通巻215号) 2014年5月15日発行 (毎月1回15日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2014, Printed in Japan

1部定価：本体1,300円＋税 年間購読料 (税込、送料弊社負担、年間12冊)：13,580円 (冊子版)／

16,580円 (冊子＋電子版/個人)／18,600円 (冊子＋電子版/共有)／13,580円 (電子版/個人)／15,600円 (電子版/共有)

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：多淵・杉本・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/ ウェブマガジン『かんかん!』 http://www.igs-kankan.com

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】 (社) 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (社) 出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。